

学校経営推進費 評価報告書（1年目）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	・中退者0をめざす ・授業アンケート「授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている」の項目について4段階の数値を3.5ptまで向上させる。
計画名	「みんなで卒業プロジェクト」

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	1 学力の向上（学ぼうとする力の育成） （1）本校生徒にとって『授業のユニバーサルデザイン化』『楽しい授業』『規律ある授業』が行えるように、教員の授業力を向上させる。 ウ ICTを活用し、授業改善と業務軽減を行う。 （3）生徒一人ひとり進路目標に合った学力（それぞれの学力）を育成する。 ア 義務教育段階の学力習得を目的とした茨田検定（振返り学習）・「基礎教養講座」や、習熟度別授業、補習などの内容を充実させる。
事業目標	「ICTを使った授業改善」を進め生徒のやる気を引き出し、平成28年度45名いる中退者を3年後に0にする。また、年度末の成績不振による留年者を0にする。（平成28年度は22名）具体的には「授業のユニバーサルデザイン化」や、「茨田検定」でICTを取り入れ、基礎学力の向上をめざす。また、本校で増加傾向にある外国籍の生徒も含めたすべての生徒がわかりやすいICTを使つてのユニバーサルデザインの授業の充実を図る。 授業アンケート「授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている」の数値を3.5ptまで向上させる。（平成28年度3.26pt）
整備した 設備・物品（数量）	液晶プロジェクター18台（普通教室）、掛け金具18台、設置工事費、無線画像転送装置3台、HDMIケーブル（3m）、その他コード類
取組みの 主担・実施者	主担：「みんなで卒業プロジェクトチーム」 取組みの実施者：全教員の8割以上を予定
本年度の 取組内容	先行16クラスに設置した段階（1月9日）で、全教職員対象にプロジェクター説明会を実施した。 「茨田検定解説教材作成PT」を立ち上げ、茨田検定の解答・解説を作成。 全クラスにプロジェクターがついた日程が後ろにずれ込み、一部学年のみ実施。
成果の検証方法 と評価指標	中退者数を前年度の50%減少させる。 45名→23名 年度末の成績不振での留年者を50%減少させる。 22名→11名 授業アンケート「授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている」の項目について4段階の数値を3.3ptまで向上させる。
自己評価	(△)中退者を前年度の50%減少させる。45名→70名 1.56 (△)年度末の成績不振での留年者を50%減少させる。22名→24名 1.09 (△)授業アンケート「授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている」の項目について4段階の数値を3.3ptまで向上させる。 3.26pt→3.29pt
次年度に向けて	1月から始まったプロジェクターがついた先行クラスでの授業において、プロジェクターの使用頻度は高まっており、生徒の学習意欲も高まりつつある。しかしながら、基礎学力向上の茨田検定の解説のITC化は、設置時期が遅れた為、今年度の実施はできなかった。 来年度に向けて、茨田検定係を中心に解答・解説を作成し、基礎学力の向上を図り、中退率の減少に努める。